

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：下保 修

事業の概要

事業名	一般国道150号 磐南IIバイパス	事業区分	一般国道	事業主体	静岡県
起終点	起点：静岡県磐田市塩新田 終点：静岡県磐田市鮫島	延長	2.0 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道150号は、静岡県静岡市を起点とし、同県浜松市に至る延長約114.0kmの幹線道路であり、国際物流基幹ネットワークにも指定され、静岡県中西部沿線地域の経済活動を支えるとともに地域間交流にも極めて重要な役割を担う路線である。</p> <p>一般国道150号「磐南IIバイパス」は、磐田市塩新田から磐田市鮫島に至る延長2.0kmの道路であり、平成19年度に完成した「磐南バイパス」の東伸工区となる。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>一般国道150号「磐南IIバイパス」は、日常的に混雑が発生している『掛塚橋東交差点』『河輪町交差点』『石原町交差点』等、磐田市周辺における一般国道150号の慢性的な渋滞を改善するとともに、夜間騒音値が要請限度を超過している『磐田市南田』の沿道環境の改善、磐南地域の物流機能の強化に大きく寄与するものである。</p> <p>全体事業費 40.0億円 計画交通量 12,500台/日</p> <p><b>事業概要図</b></p>					

**関係する地方公共団体等の意見**

「磐南IIバイパス」を含む一般国道150号バイパスは、渋滞の著しい現一般国道150号の交通混雑の緩和や沿道環境の改善、沿線に点在する工業団地へのアクセス向上による地域産業の活性化が期待されており、地元5市で構成される「浜松・御前崎海岸道建設促進期成同盟会」から早期整備の要望を受けている。

**事業採択の前提条件**

費用対便益：便益が費用を上回っている  
手続きの完了：都市計画決定済み、改良予定線認可済み

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.5	総費用 32億円 （事業費：30億円 維持管理費：1.5億円）	総便益 111億円 （走行時間短縮便益：107億円 走行費用減少便益：2.0億円 交通事故減少便益：1.2億円）	基準年 平成19年	
	感度分析の結果		交通量変動 B/C= - (交通量 - %)	B/C= - (交通量 - %)		
			事業費変動 B/C= - (事業費 - %)	B/C= - (事業費 - %)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	渋滞損失時間の高い区間の渋滞を改善する 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】 21.0万人時間/年km(磐田市掛塚字砂町) 静岡県平均値：2.7万人時/年km(約7.8倍) 静岡県管理道路上位2割値：7.1万人時/年km(約3.0倍)		
		事故対策	-	【死傷事故率】 397.2件/億台キロ(H14~H17平均)		
	社会全体への影響	歩行空間	○	現道では、人家連坦地区の歩道狭小区間が問題であったが、本バイパス整備により歩行者に安全な歩行空間を提供できる。		
		住民生活	○	慢性的な渋滞の緩和により、住民生活の質的向上に寄与する。		
		地域経済	○	国際物流基幹ネットワークに指定されている当路線沿線に点在する工業団地へのアクセス向上により地域産業の活性化を支援する。		
		災害	○	第1次緊急輸送路の機能確保を図り、福田漁港、御前崎港等、各防災拠点施設へのアクセスを向上させる。		
環境		◎	当区間の整備により夜間騒音値が要請限度を満足できる。			
地域社会	○	当路線沿線に点在する工業団地へのアクセス向上により、新たな工業団地進出企業の増加に期待できる。				
事業実施環境	○	地元自治体との調整状況も良好であり、特に問題はない。				

採択の理由

費用便益比が3.5と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。磐南地域における一般国道150号では慢性的な渋滞が発生しており、事業実施による安全で円滑な交通確保及び地域活性化の効果は高いと判断できる。以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。